

### 秋のお彼岸を迎えて

疲れを癒して実り多いものにしましょう

今年も半分過ぎ去りました。その過ぎ去った印象は、「暑かった」という感じではなかったでしょうか。エアコンがなければ、生きられないということですね。そのエアコンの需要が増えて、購入できない家があったそうです。子どもの夏の行事が今年の暑さで、取りやめになり、せつなくの夏休みに思い出作りができなかったことを残念に思います。そして、高齢者が熱中症で亡くなられたこともききました。自然の災害に憤りを感じます。

また、数日前の台風二十一号で、停電や看板の落下、瓦の落下など、私たちの暮らしに甚大な被害をもたらされた方々には、心からお見舞い申し上げます。一日も早く復旧されますこと心よりお祈り申し上げます。

人々はいま、疲れ果てています。秋の彼岸にはどうぞ心と体を癒やしてください。

### 十三佛の信仰

十(とお)あまり三(みつ)の仏を拝みけり  
「の世つれしくあゝ世たのしく」

人間は、生まれた瞬間から煩惱と苦しみのなかで、楽土(安穩の世界)を目指しています。いわゆるこの娑婆世界は修行の道場で生きています。

園の苦しみから人間を救うために現れるのが仏様です。仏様は、生きています。亡くなった死んだ後も様々な仏様に出会います。亡くなっ

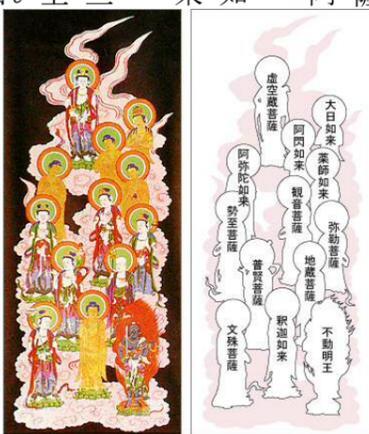
た方の法要が四十九日あるのは、その仏様との出会いがあつて、死後の世界でも煩惱を取り除きながら楽土へ向かうと考えられて。十三佛の懸け軸をお祀りするのです。

不動明王 釈迦如来 文殊菩薩  
普賢菩薩 弥勒菩薩 薬師如来  
観世音菩薩

勢至菩薩 阿彌陀如来  
阿しゆく如来

来 大日如来  
虚空蔵菩薩

これら十三の仏様が、楽土に導いてくれるのです。



### 十月、十一月の予定

#### 共同の大蔵経会

とき 十月十三日(土)～十四日(日)

会場 西万木の来迎寺

※来迎寺は、創建五百年記念法要と合わせで行います。

#### お説教は、

近江八幡の太光寺住職

八耳哲也師でございます。きつと人生のためになるお話をいただけます。ぜひ、御縁を結んでください。

### 秋のお十夜会

とき 十一月十日(土)

午後は、念仏講様の法要と夜は袋米回向で先祖供養をいたします。詳しくは、チラシを配布しますのでご覧ください。

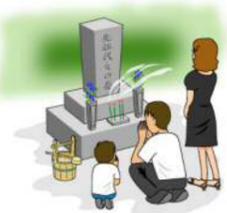
### 柔和な笑顔を絶やさない

布施するといえ、持てるものが、持たざるものに、何かを施すことのように思われますが、これといった財産や地位などなくて誰でもが日々の暮らしの中で、容易に周りの人々に幸せにし、自分もまた幸せになれる方法を見つけないことができません。

雑宝蔵経に「無財の七施」が説かれています。七施とは、眼施、和眼施、言施、身施、心施、座施、房舎施とあつて、和眼施が柔和な笑顔を絶やさないといいこととなります。

人生には、筋かき通りにいかず、思いがけないことで傷ついたり、落ち込んだりするものです。そんなとき誰かの笑顔に出会って救われたり、生きる勇気を与えられた経験をしていませんか。これはどうして容易なことではないのです。ところがいつどんなときも柔和な笑顔を忘れないという人がいます。その人の周囲にはいつでも笑いの材料があふれているからでしょうか。いえそうではないのです。

「決シテ慎ラズ／イツモシヅカニワラツテイル」(雨二モマケズ)と歌ったのは、宮沢賢治さんですが、おそらくその人もまた、常日頃から柔和な笑顔を忘れない生き方を心がけているに違いありません。



生きる力をなくした人たちに笑顔のお布施をしようと呼びかけた和尚さん。それに答えた人たちが、まだまだできることがあるよ。と懸命に立ち上がるうとする人たちがその誠実なやりとりに自ずからこぼれてくるお互いの笑顔が見えてきます。

誰もが悩んだり、苦しんだり、抜け道のない迷路に迷い込んだりして、不器用にすったもんだを繰り返すからこそ、時には涙色した心にふたをしてでも笑

顔でいることが大事なのです。そうして笑顔のお布施をしているうちにいつの日かきつとなんだ。こんなことかと、心から笑顔になれるときが来るのです。

### 山門のもみじの古木が折れました

去る八月二十四日早朝、台風二十号の影響で、山門の紅葉の枝が折れて、お墓の方に倒れました。幸いにもお墓は無傷でしたが、土塀の瓦を数十枚壊れました。ほんと悲しいです。毎年、紅葉した紅葉が山門を飾ってくれて、参詣者の目を楽しませてくれました。残念です。



### 川柳

墓参り 先祖様に誓う 頑張るぞ

### びんずる会の活動

座禅、写経、清掃などをして、心の修養をします。皆様のご参加をお待ちします。参加してみようと思われる方は、ご一報下さい。

発行者 高島市安曇川町田中三四五九  
天台真盛宗玉泉寺 木村哲基

電話 〇七四〇一三二一〇七九一  
携帯 〇九〇三七〇八七二〇六  
Fax 〇七七五〇二二二七九  
メール① [Info@gyokusenji.com](mailto:Info@gyokusenji.com)  
メール② [svka37375@leto.eonet.ne.jp](mailto:svka37375@leto.eonet.ne.jp)  
ホームページ

「天台真盛宗玉泉寺」と「滋賀高島石仏の玉泉寺」  
どうぞご覧ください。